

## 年表でみる新型コロナウイルス感染症と日本のオペラ界 (2020年)

2019年末の新型コロナウイルス感染症発生報告以降、同ウイルスの感染拡大を受け、行政が実施した対応と、それを受けたオペラ界の主な動きを時系列で記録した。

作成：昭和音楽大学オペラ研究所

月日	感染拡大 期区分	オペラ・舞台芸術に関わる事項	政府	イベント開催に対する措置 (コンサートに関わるもの) ほか	
				東京	大阪
2019年 12月31日(火)	感 染 拡 大 期 第 1 波		(中国がWHOに、湖北省武漢市で原因不明の肺炎のクラスターが確認されたと報告)		
2020年 1月15日(水)			(日本国内初の感染者を確認。翌16日に厚労省より発表)		
1月17日(金)		国立新美術館で国際シンポジウム「舞台芸術における国際共同制作の最前線-World Opera Meeting in Tokyo 2020 いま、世界との協働に求められるアーティスト/スタッフとは」開催(文化庁/〔公社〕日本芸能実演家団体協議会主催)			
1月30日(木)			(WHO、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」と宣言)		
2月5日(水)			(クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」横浜沖で14日間の船上隔離開始)		
2月18日(火)					府主催のイベントや集会を原則、開催中止又は延期を発表。～3月20日 翌19日、同方針について府内市町村へ協力を依頼 29日以降、一部府有施設が休館。～3月20日
2月19日(水)		「2020都民芸術フェスティバル」東京二期会オペラ劇場《椿姫》開催(2月19,20,22,23日:東京文化会館大ホール)			
2月22日(土)		関西二期会第92回オペラ公演《カヴァレリア・ルスティカーナ》《バリアッチ(道化師)》開催(2月22,23日:東大阪市文化創造館大ホール)			都主催の屋内でのイベント、大規模なもの、飲食を伴うものについて原則延期または中止。屋外でのイベントについても、食事を提供するものは原則として延期または中止。～3月15日
2月25日(火)		新国立劇場、3月末までの全てのイベント(公演以外の主催事業)の中止を発表			
2月26日(水)		新国立劇場、2月28日から3月15日までのすべての主催公演の中止を発表 東京オペラ・プロデュース第105回定期公演《シンデレラ》(2月28日:なかのZERO小ホール)、無観客上演に変更のうえ映像収録することを発表。希望者には、チケット払い戻しに代えて、映像収録メディアの配布でも対応 神奈川県立音楽堂、音楽堂室内オペラ・プロジェクト《シッラ》(2月29日、3月1日:神奈川県立音楽堂)の中止を発表		[多数の観客が集まる全国的なスポーツ・文化イベント等]について今後2週間の中止・延期・規模縮小を要請	
2月27日(木)		全国の小・中学校、高等学校等に3月2日から春休みまでの一斉休校を首相が要請			
2月28日(金)	文化庁委託事業 2019年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業「日本のオペラ作品をつくる～オペラ創作人材育成事業」第Ⅱ期公開試演会(昭和音楽大学ユリホール)、無観客上演に変更のうえ開催				



月日	感染拡大期区分	オペラ・舞台芸術に関わる事項	政府
4月10日(金)	感 染 拡 大 期 第 1 波	新国立劇場、過去の公演記録映像をストリーミング配信する期間限定サービス「巣ごもりシアター」を開始。～6月26日	
4月11日(土)			(全国の新規感染者数が644人に＝第1波ピーク)
4月16日(木)			緊急事態宣言の対象を全国に拡大。13都道府県が「特定警戒都道府県」に
4月22日(水)			
4月24日(金)			
4月30日(木)			「新型コロナウイルス感染症等の影響に対応するための国税関係法律の臨時特例に関する法律」成立。感染拡大防止のため中止等となった文化芸術・スポーツイベントのチケットを払い戻さず「寄附」することにより、税優遇を受けられる制度が新設
5月4日(月・祝)			緊急事態宣言、5月31日まで延長。東京等13の「特定警戒都道府県」には「徹底した感染防止対策」を前提に一部公共施設の使用制限の解除・緩和を認める
5月11日(月)			日本舞台芸術振興会(NBS)、9月のミラノ・スカラ座の来日公演見合わせを発表
5月14日(木)			公演の中止延期が相次いだ舞台芸術界の損害額を調査。40を超える関係企業・団体が参加・賛同し「緊急事態舞台芸術ネットワーク」を発足、Webサイト開設
5月21日(木)			全国公立文化施設協会、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を策定
5月21日(木)			緊急事態宣言、京都・大阪・兵庫で解除(東京・神奈川・埼玉・千葉・北海道は継続)
5月23日(土)			
5月24日(日)			「@調布国際音楽祭」、オンライン開催実現のためのクラウドファンディング募集開始。6月12日の第1期募集終了までに、630人の支援により7,509,000円の資金が集まる
5月25日(月)			緊急事態宣言、全国で解除(5月31日までの予定を前倒し) イベント開催制限、施設の使用制限の要請等について、6月1日(ステップ①)、6月19日(ステップ②)、7月10日(ステップ③)から、それぞれ段階的に緩和することとする
5月26日(火)			
5月27日(水)		経済産業省「コンテンツグローバル需要創出促進事業補助金 J-LODlive」募集開始	

イベント開催に対する措置(コンサートに関わるもの)ほか	
東京	大阪
娯楽施設や大学、劇場等に4月11日から5月6日までの休業を要請。要請に応じた中小の事業者に1店舗50万円の「協力金」給付の方針	
対象施設の使用停止及び催物の開催の停止要請等。～5月6日(その後5月25日まで延長)	
	休止している劇場やライブハウス等に対し、無観客ライブ等の配信事業の立ち上げを支援する補正予算案を発表
芸術文化活動支援事業「アートにエールを!東京プロジェクト」、実施発表(5月15日～個人登録、5月20日～企画応募)	
	緊急事態宣言、解除
	全国の緊急事態宣言終了日までは、規模を縮小したイベント開催の協力を要請。開催規模については、屋内は100人以下かつ定員の半分以上の参加人数にすること、屋外は200人以下、かつ人の距離を十分に確保すること。～5月29日
緊急事態宣言、解除	
「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ～「新しい日常」が定着した社会の構築に向けて～」(5月22日策定)にもとづき、休業要請緩和のステップ1へ移行。博物館、図書館、大学等の施設の使用再開が可能となる	

月日	感染拡大期区分	オペラ・舞台芸術に関わる事項	政府
5月30日(土)	感 染 拡 大 期 第 1 波		
6月1日(月)		劇場再開が可能に。人数上限は100人	イベント開催制限段階的緩和ステップ①。屋内は収容率50%以内、人数上限は100人、屋外は人と人の距離を十分に確保すること(できれば2m)、人数上限は200人。～6月18日
6月5日(金)		新国立劇場、「新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」策定	
6月9日(火)		新日本フィルハーモニー交響楽団、演奏会再開に向けて医師の立ち合いのもと舞台上での試演を実施(すみだトリフォニーホール)	
6月10日(水)		東京芸術劇場、施設再開に伴い「公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」策定	
6月11日(木)		クラシック音楽公演運営推進協議会、「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を策定	
		東京都交響楽団、専門家・医師等の立ち合いのもと演奏会再開に備えた試演を実施。12日はソプラノ、バス独唱も入れ飛沫計測(6月11,12日:東京文化会館大ホール)	
6月12日(金)			令和2年度第2次補正予算において「文化芸術活動への緊急総合支援パッケージ」として560億円(一部スポーツを含む)が計上される
6月13日(土)		京都フィルハーモニー室内合奏団、第225回定期演奏会を開催(9月13日:京都コンサートホール小ホール)。日本オーケストラ連盟加盟団体ではコロナ後初めての有観客公演	
6月18日(木)		東京芸術劇場、主催公演再開(「ナイトタイム・バイブオルガンコンサート Vol.32」) びわ湖ホール声楽アンサンブルによるロビーコンサートYouTube公演 無料配信開始	
6月19日(金)		イベント開催制限段階的緩和ステップ②。屋内は収容率50%以内、人数上限は1,000人、屋外は人と人の距離を十分に確保すること(できれば2m)、人数上限は1,000人に緩和。～7月9日 都道府県境をまたぐ移動を全面的に緩和。ライブハウスやナイトクラブ等の休業要請も解除	
6月20日(土)	東京文化会館、主催公演再開(「ワークショップ・コンサート 海の仲間の音楽会～ふしぎな宝箱のひみつ～」)		
6月21日(日)	東京フィルハーモニー交響楽団、在京オーケストラで初めて有観客公演を再開(Bunkamura オーチャードホール)		
6月28日(日)	東京文化会館主催「シャイニング・シリーズVol.7 東京音楽コンクール入賞者による「テノールの饗宴」開催(東京文化会館大ホール)		

イベント開催に対する措置(コンサートに関わるもの)ほか	
東京	大阪
	不特定多数が参加するイベント等に対して、適切な感染防止策の実施と、感染者発生に備えた「大阪コロナ追跡システム」導入の協力を要請。開催規模については引き続き、屋内100人以下、屋外200人以下。～6月18日
休業要請緩和のステップ2へ移行。劇場、演芸場、公会堂等の施設の使用再開が可能となる	
休業要請緩和のステップ3へ移行。ライブハウス等の施設の使用再開が可能となる	屋内・屋外ともにイベント開催規模を1,000人以下に緩和。全国的な人の移動を伴うイベントは、無観客で開催。～7月9日
芸術文化活動支援事業「アートにエールを!東京プロジェクト」再募集発表(6月23日～個人登録、7月8日～企画応募)	

月日	感染拡大期区分	オペラ・舞台芸術に関わる事項	政府
6月29日(月)	感 染 拡 大 期 第 2 波	全日本合唱連盟、「合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン」を策定	
6月30日(火)		緊急事態舞台芸術ネットワーク、「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」を策定	
7月7日(火)		新国立劇場、各劇場及びリハーサル室の換気状況を調査。～11月10日	
7月9日(木)		新国立劇場、演劇『願いがかなうぐつぐつカクテル』で公演再開 兵庫県立芸術文化センター、「どんな時も 歌、歌、歌！～佐渡裕のオペラで会いましょう」開催のためにスモーク実験を実施	文化庁、文化芸術収益力強化事業(委託事業)の募集開始
7月10日(金)			文化庁「文化芸術活動の継続支援事業」補助金第1次募集開始。～7月31日 イベント開催制限段階的緩和ステップ③。屋内は収容率50%以内、人数上限は5,000人、屋外は人と人の距離を十分に確保すること(できれば2m)、人数上限は5,000人に緩和。～7月末を目途(その後延長)
7月11日(土)		東京二期会、スペシャル・オペラ・ガラ・コンサート「希望よ、来たれ！」開催(東京文化会館大ホール) クラシック音楽公演運営推進協議会と日本管打・吹奏楽学会、客席や楽器演奏・歌唱における飛沫等の飛散に関する科学的検証実験を実施。～7月13日	
7月22日(水)			「GoTo トラベル」キャンペーン開始。東京発着の旅行は割引対象外
7月23日(木)		兵庫県立芸術文化センター、「どんな時も 歌、歌、歌！～佐渡裕のオペラで会いましょう」開催(7月23,24日：兵庫県立芸術文化センター大ホール) ミュージア川崎、「フェスタ サマーミュージアKAWASAKI 2020」有料映像配信と有観客公演のハイブリッドで開催。～8月10日	8月からを予定していたイベント開催の人数上限(5,000人)撤廃を見送り、8月末まで現行の開催制限を維持することを決定
7月30日(木)			
7月31日(金)		東京混声合唱団、合唱用に開発した「歌えるマスク」をつけて「コン・コン・コンサート2020」を開催(東京芸術劇場コンサートホール)。YouTubeによるライブ配信も実施	
8月1日(土)			
8月7日(金)			(全国の新規感染者数が1,597人に=第2波ピーク)

イベント開催に対する措置(コンサートに関わるもの)ほか	
東京	大阪
	屋内・屋外ともにイベント開催規模を5,000人以下に緩和。～7月31日
酒類を提供する飲食店とカラオケ店に業種を絞り、営業時間は22時までと再び要請	
	主催者に対し、業種別ガイドラインの遵守を徹底するとともに、国の接触確認アプリ「COCOA」、大阪コロナ追跡システムの導入、または名簿作成などの追跡対策の徹底を要請。開催規模については引き続き、屋内・屋外ともに5,000人以下を目安とする。(全国的な移動を伴うイベント又はイベント参加者が1,000人を超えるようなイベントを開催する際には、そのイベントの開催要件等について、大阪府に事前に相談すること。適切な感染防止策が実施されていないイベントや、リスクへの対応が整っていないイベントは、開催自粛を要請することも検討)～8月31日(その後9月18日までに延期)



月日	感染拡大期区分	オペラ・舞台芸術に関わる事項	政府	イベント開催に対する措置（コンサートに関わるもの）ほか	
				東京	大阪
11月1日(日)	感 染 拡 大 期 第 3 波		短期出張の日本人や日本に居住する外国人の再入国時の待機免除等、水際対策を緩和		
11月3日(火・祝)		バッハ・コレギウム・ジャパン、BCJ オペラシリーズ vol.2(リナルド)セミ・ステージ形式(東京オペラシティコンサートホール)の有観客公演を有料ライブ配信			
11月4日(水)		ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団がチャーター便で来日。11月5～14日にかけて日本各地で公演			
11月10日(火)			各地での感染者急増を受け、政府分科会がより一層の対策強化について緊急提言		
11月12日(木)		日本センチュリー交響楽団、第250回定期演奏会《フィデリオ》演奏会形式 開催(11月12日：ザ・シンフォニーホール)	イベントの開催制限について、12月1日より大声での歓声・声援等がないことを前提とするものの中に「飲食を伴うが、イベント中の発声がないもの」を加えることを発表。～2021年2月末		
11月25日(水)			文化庁「文化芸術活動の継続支援事業」補助金第4次募集開始。～12月11日		
12月14日(月)			「Go Toトラベル」を12月28日から全国一斉停止することを発表。～1月11日(その後延長)		
12月16日(水)			「Go To イベント」「Go To 商店街」について12月28日から新規販売を全国一斉停止することを発表。～1月11日(その後延長) 「Go To Eat」についても同日から新規販売停止と利用自粛を要請することを発表。～1月11日(その後延長)		
12月23日(水)			感染拡大地域でのイベント開催について、9月18日以前の基準に照らし人数上限を5,000人と厳格化する目安を発表		
12月25日(金)			厚生労働省、英国から到着した5人から新型コロナウイルス変異種(アルファ株)の確認を発表。国内で初めて変異種の感染者を確認		
12月28日(月)			全世界からの外国人の新規入国を停止。～2021年1月末		
2021年1月7日(木)			緊急事態宣言、埼玉・千葉・東京・神奈川の1都3県に発出		
1月8日(金)			(全国の新規感染者数が8,045人に＝第3波ピーク)		

※本年表は、政府・自治体等の発表資料、各種報道に基づく情報のほか、以下の資料に掲載された年表等を参考にして2021年10月末時点に作成した。  
 ※感染拡大期の区分については、便宜的に大阪府の区分(2020年1月29日～6月13日＝第1波、6月14日～10月9日＝第2波、10月10日～2021年2月28日＝第3波)に従った。  
 (主要参考資料)  
 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館(監修)、後藤隆基(編著)『ロスト・イン・パンデミック 失われた演劇と新たな表現の地平』春陽堂書店、2021年6月。  
 文化芸術推進フォーラム『新型コロナウイルス感染症拡大による文化芸術界への甚大な打撃、そして再生に向けて 調査報告と提言』2021年7月。  
 『新国立劇場令和2年度年報』公益財団法人新国立劇場運営財団、2021年9月。